



国立民族学博物館(みんぱく)とは

当館は、博物館機能を持ち、大学院教育をおこなう文化人類学・民族学の研究所です。1974年に創設され、1977年に展示が一般公開されました。当館の約50名の研究者たちは、世界各地で人びとの生活や社会、文化について調査研究をおこなっています。現在、当館には、世界の諸文化への理解を深めるために収集された約34万5000点の標本資料のほか、約7万点の映像・音響資料、約69万冊の文献図書資料が所蔵されています。

集められたモノは、宝物や重要文化財といった貴重品ではなく、世界各地の人びとが普段の暮らしで使っている衣食住などの生活用品が中心です。民族衣装など装いにまつわるモノのほか、生業や信仰をささえる用具、都市や農村の暮らしの道具、娯楽や芸能で使われる器物などがあります。膨大な標本資料のうち、約1万2000点が本館展示場で一般に公開されており、展示品をケースにおさめない露出展示が多いことも特徴のひとつです。本館展示は、オセアニア、アメリカ、ヨーロッパ、アフリカ、西アジア、南アジア、東南アジア、中央・北アジア、東アジアという9つの地域展示と、音楽、言語をテーマとした通文化展示で構成されています。

当館は創設以来、世界の民族文化の優劣はなく、すべて等しい価値をもつという認識にもとづいて展示場をつくり上げてきました。こうした考え方は、ひとつひとつのモノに添えられた解説にも込められています。異文化に対する興味や理解がうまれるとともに、自分たちの文化について考える場となる博物館をこれからも目指していきます。

みんぱく豆知識

- 本館展示場の、オセアニアから東回りに地球を一周するコースは総距離約5km。平均見学時間は1時間30分程度です。
- 建物を設計したのは、建築家の黒川紀章氏です。外壁のタイルは「利休ねずみ」という色で、「鉄とコンクリート」を材料とした日本建築であり、和風建築の美しさを生かした建物となっています。
- 当館は、1970年の日本万国博覧会の跡地に建てられました。万博当時、アルジェリア館、インド館、オンタリオ州館、スイス館、せんい館等があったところです。大学共同利用機関として、1974年に創設、1977年に開館しました。
- 初代館長は、梅棹忠夫(1920年～2010年)です。京都大学教授、国立民族学研究博物館(仮称)創設準備室長を経て、国立民族学博物館の初代館長となり、1993年まで約20年にわたって館の運営にたずさわりました。
- 2009年から順次、約30年ぶりのリニューアルをおこない、2016年にすべての展示場が新しくなりました。
- 前庭で皆様をお迎えするのは、2020年に新しく制作されたトーテムポールです。向かい合って立つもう一本のトーテムポールは、1977年の開館時に制作されたものです。



みんぱくの展示場で世界一周!

本館展示はオセアニアからはじまって、アメリカ、ヨーロッパ、アフリカ、西アジア、音楽、言語、南アジア、東南アジア、中央・北アジア、東アジア、そして最後に日本と、地球を東まわりに一周するようになっています。広い展示場を一周すれば、世界旅行をしたような気分を味わうことができます。



どの展示からでも
自由にご覧いただけます!

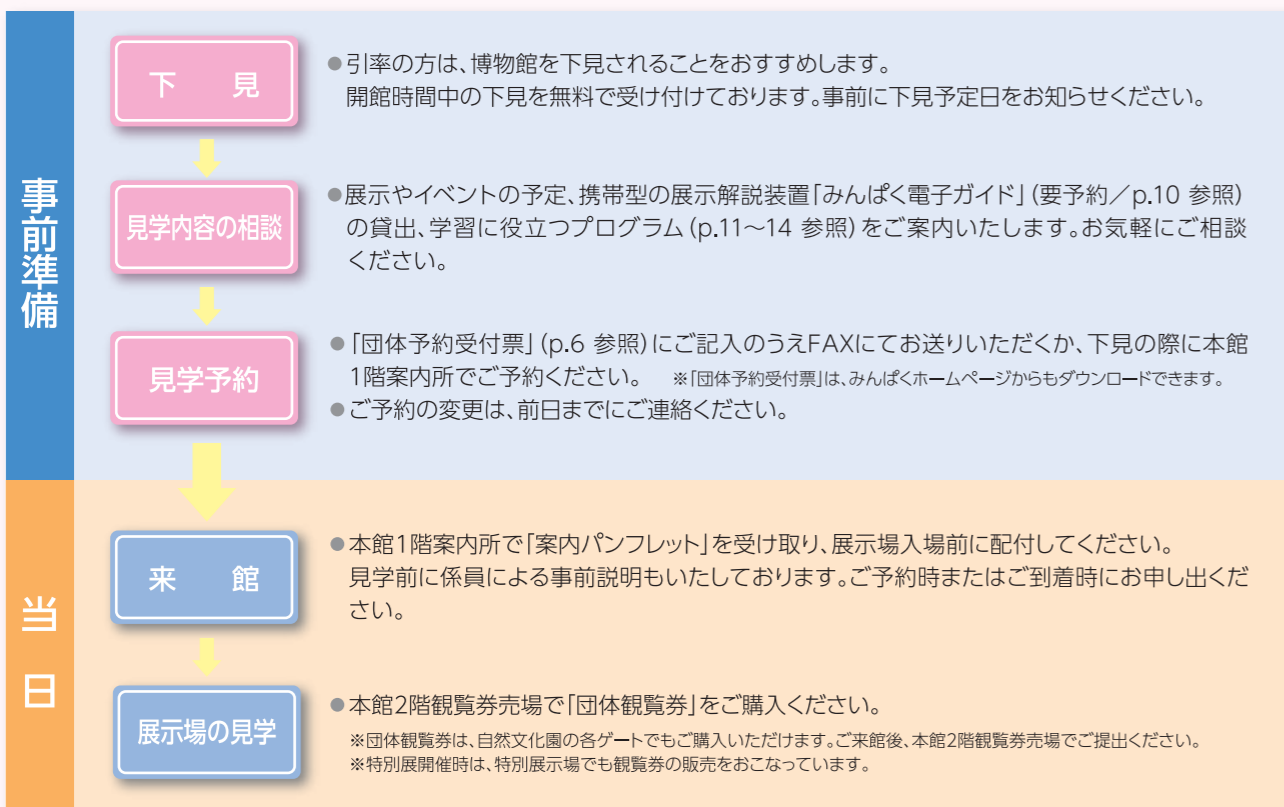
ご入館にあたって

- 開館時間 10時～17時(入館は16時30分まで)
- 休館日 水曜日(水曜日が祝日の場合は、翌日が休館)、年末年始(12月28日～1月4日)
- 観覧料

	区分	団体(20名以上)・割引	個人
本館展示	一般	490円	580円
	大学生	200円	250円
	高校生以下	無料	無料
特別展示	一般	その都度、別に定めます	
	大学生	その都度、別に定めます	
	高校生以下	無料	無料

- 高校生以下は本館展示、特別展示とも無料で観覧いただけます。
- 団体は、総人数20名以上です。
- 学校団体引率者(教員)は無料です。
- 団体観覧券は、1団体につき1枚です。料金の前払いや後払いは取り扱っておりません。また、一度ご購入いただいた観覧券は払い戻しできません。人数をご確認のうえご購入ください。
- 障がい者手帳等をお持ちの方は、付添者1名とともに、無料でご観覧いただけます。障がい者団体の場合は、公印が押された証明書(来館日・団体名・障がい者・付添者の人数が書かれたもの)を来館当日にご提出ください。

- 無料ゾーン 1階 ● エントランスホール ● ミュージアム・ショップ ● レストラン
2階 ● イントロダクション ● 探究ひろば ● ビデオテーク ● みんなくシアター



お問い合わせ先

国立民族学博物館 案内所 TEL: 06-6878-8341 (10時～17時)
FAX: 06-6878-8441

ご利用にあたって

撮影・展示資料の扱い(特別展・企画展は別に定めます。)



- 本館展示場では、個人使用のための写真・ビデオ撮影は自由です。ただし、禁止表示のある資料、映像資料や書籍等の撮影はご遠慮ください。また、三脚(一脚)や自撮り棒、照明スタンド、フラッシュの使用はできません。



- 本館展示場では、手の届く範囲の展示資料については、質感を確かめる程度であれば触れることができます。展示資料を破損しないように、丁寧に扱ってください。ただし、禁止表示のある資料および音楽展示の資料には触れることができません。

展示場での禁止事項(特別展・企画展は別に定めます。)



- 傘等の長いものやスポーツ用具、ハンドマイク、自撮り棒は展示場内に持ち込みできません。1階のコインロッカーまたはキャスター付きバスケットをご利用ください。キャスター付きバスケットをご利用の際は、係員にお申し出ください。ただし、管理上の責任は負いかねますので、あらかじめご了承ください。



- 筆記用具は鉛筆をご使用ください。ボールペン、シャープペンシル等の使用はできません。また、展示場内で筆記する際にはバインダー等をご用意いただき、ガラスケースや解説プレートの上での筆記はご遠慮ください。



- 展示場内での飲食(アメ・ガム等を含む)はご遠慮ください。館内での飲食および喫煙は以下の場所をお願いいたします。

- ◎ 飲用可能な場所 ■ 1階休憩所 ■ 東南アジア屋外休憩所(甘味飲料不可) ■ くつろぎスペース(BF) ■ 特別展示館休憩所(BF) ■ 前庭
- ◎ 食事可能な場所 ■ くつろぎスペース(BF) ■ 特別展示館休憩所(BF)
※収容人数はいずれも100名程度です。ご予約についてはお問い合わせください。なお、ゴミは各自でお持ち帰りください。
- ◎ 喫煙可能な場所 ■ くつろぎスペース喫煙所(BF)

その他の注意事項

- 館内を走らないでください。
- 大声で騒がないでください。
- かばん等の手荷物を床に放置しないでください。
- 床に座り込み、通路をふさがらないでください。
- 補助犬を除く動物や植物、危険物を持ち込まないでください。
- 下駄やスパイク等、施設を損傷する恐れのある履き物、ケガの原因となる裸足はご遠慮ください。

Q 割引制度はありますか？

A 以下の方々は、割引料金で観覧できます。証明書等をご用意ください。

※証明書等をお持ちでない場合は割引の対象にはなりません。
※団体割引との併用はできません。

- 大学等(大学・大学院・短期大学・専修学校の専門課程)の授業でご利用の方
シラバス等、授業内容が明記されたもののコピーを観覧券売場にてご提出ください。
なお、教員同行で展示場にて授業等をおこなう際は、**3週間前まで**にお申し込みいただくと観覧料が無料になります(大学・大学院・短期大学対象)。詳細はお問い合わせください。
(電話:06-6878-8210 土・日・祝日を除く 10時~17時)
- 満65歳以上の方(19名以下の場合)
観覧券売場にて、年齢が証明できるものをご提示ください。

Q 再入場はできますか？

A 展示場入口で団体名をお申し出ください。当日に限り個人またはグループでの再入場が可能です。

Q 集合できる場所ありますか？

A 本館1階エントランスホールまたは屋外の正面広場をご利用ください。**※本館2階での集合はご遠慮ください。**
なお、集合放送はおこなっておりませんので、あらかじめ集合場所と時間をご周知ください。

Q 体調が悪くなった時や授乳はどうしたらいいですか？

A 本館1階の休養室やベビールームをご利用いただけます。ご利用の方は係員にお申し出ください。

Q バリアフリーには対応していますか？

A 補助犬同伴の入館以外にも、車椅子・オストメイト対応のお手洗いや、スロープ等の設備、車椅子の貸出をおこなっております。ご利用の際には係員にお申し出ください。また、視覚特別支援学校・盲学校を対象に、当館で活動する団体「みんなくミュージアムパートナーズ」による展示場案内もいたします。(p.13 参照)

Q 下見に行けないのですが、電話で案内はしてもらえますか？

A 見学についてのご相談は電話でも受け付けております。
またパンフレット等はホームページにも掲載しておりますので、ご活用ください。

下記太枠線内にご記入の上、FAXにて送信してください。

予約完了後、FAXを返信いたします。

送信先：国立民族学博物館 案内所

FAX：06-6878-8441

*** 団体予約受付票 ***

下見来館予定	無 / 有 (月 日 曜日 時頃) ・人数 名 ・交通機関 ()		
団体来館日時	年 月 日 曜日、来館時刻 : ~ : ・未定		
フリガナ			
団体名			担当者名
団体住所	(〒 -) 都 道 府 県		
電話番号	- -	FAX番号	- -
人数	一般(引率者含) 名 / 大学生 名 / 高校生以下(学年) 名 障がい者手帳等をお持ちの方 名、付添者 名		
天候による変更	雨天決行 / 雨天時のみ来館 / 雨天中止 / 雨天延期 月 日 曜日・延期日未定		
	緊急連絡先: - - 担当者: _____ ※臨時休館の際には連絡いたします。 (大阪市・北大阪地域に「暴風及び大雨」の警報が発令され、かつ、自然文化園が休園となった場合及び新型コロナウイルス感染状況に応じたみんなくの活動基準(レベル)により休館になることがあります。)		
見学の希望	本館展示のみ見学 / 本館展示・特別展示見学 / 特別展示のみ見学		
利用交通機関	団体バス利用(無/有) / モノレール / 路線バス / その他()		
自然文化園の利用	無(通行のみ) / 有(自然文化園・日本庭園内での散策やご休憩等)		
休憩所利用	無 / 有(特別展示館休憩所(BF) 名)(本館くつろぎスペース(BF) 名) 1. 11時~12時 2. 12時~13時 3. 13時~14時 第1希望に○、第2希望に△を付して下さい。		
弁当予約	無 / 有 有の場合、直接レストランにご相談ください。 TEL:06-6310-0810(11時~16時30分) E-mail:grill.minpaku@gmail.com		
旅行会社	社 名		
	電話番号		担当者名
ご質問等			

レストランをご利用の際には直接ご予約ください。TEL:06-6310-0810(11時~16時30分) E-mail:grill.minpaku@gmail.com

.....以下は記入しないでください。.....

様

上記のとおり団体予約を受付いたしました。ご来館をお待ちしています。

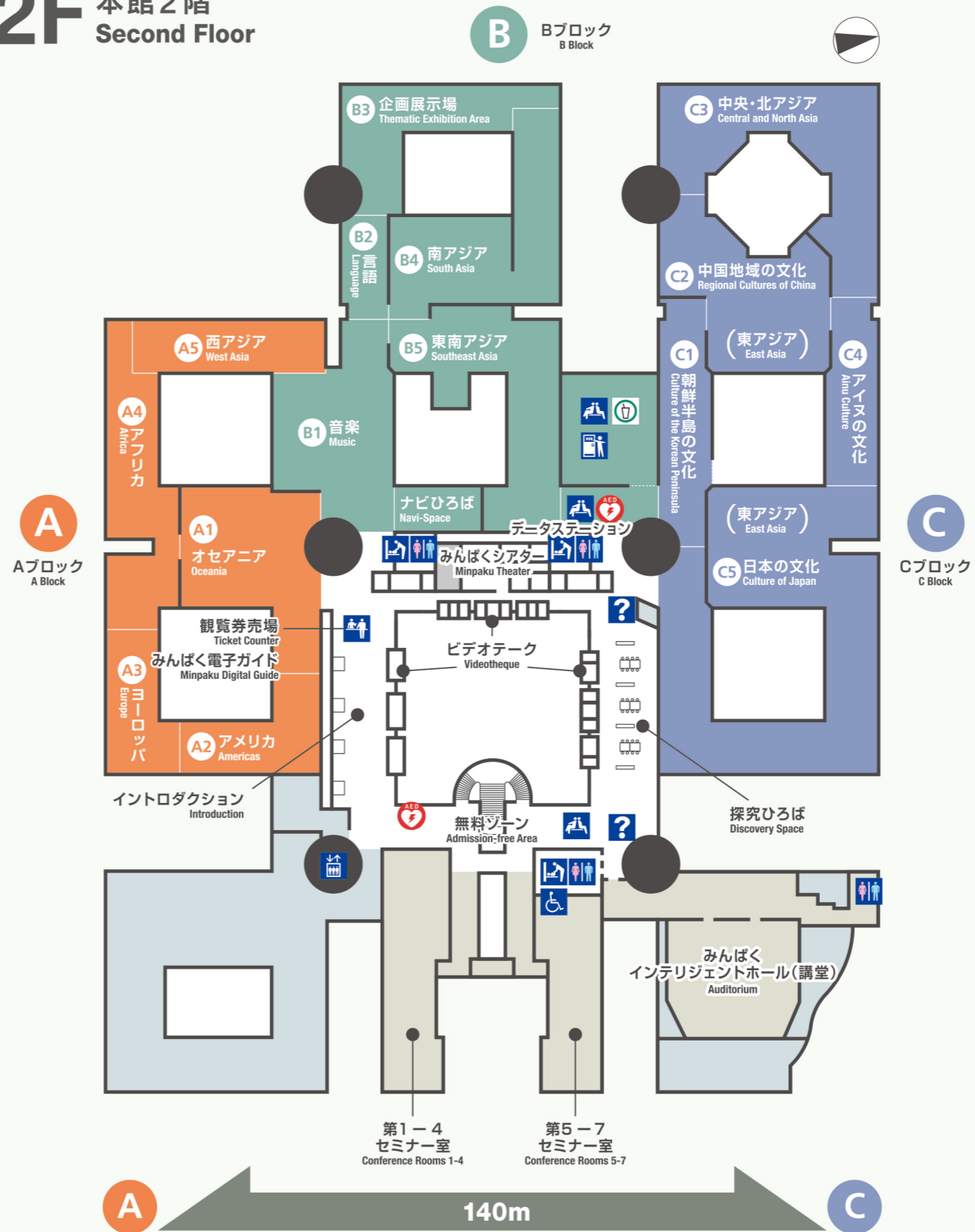
受付日: 年 月 日(担当:)

国立民族学博物館案内所 電話:06-6878-8341(10時~17時)

1F 本館1階 First Floor



2F 本館2階 Second Floor



凡例 Legend

- インフォメーション
Information Counter
- 観覧券売場
Ticket Counter
- 休憩所
Rest Area
- 休憩所(飲食可)
Rest Area (food and beverages allowed)
- 休憩所(飲み物のみ可)
Rest Area (beverages allowed)
- エレベーター
Elevator
- 公衆電話
Public Telephone
- コインロッカー
Coin Lockers
- 喫煙コーナー
Smoking Area
- 自動販売機
Vending Machines
- トイレ
Restroom
- 男性用トイレ
Restroom for Gentlemen
- 女性用トイレ
Restroom for Ladies
- 多目的トイレ
Multipurpose Restroom
- ベビールーム
Nursing Room
- ベビースーツ
Changing Table
- レストラン
Restaurant
- ミュージアム・ショップ
Museum Shop
- AED設置場所
Automated External Defibrillator

- Aブロック
A Block
- Bブロック
B Block
- Cブロック
C Block
- 無料ゾーン
Admission-free Area
- イベント時のみ利用可能
Special Event Area
- 関係者専用
Staff Access
- 特別展示館
Special Exhibition Hall

みんなく紹介
利用案内
観覧案内
交通案内
近隣の施設

ビデオテーク・みんぱくシアター (無料)

ビデオテークブースやみんぱくシアターでは、世界の人びとの生活や儀礼、芸能、技術等を記録した番組をご覧いただけます。15分程度にまとめた番組をはじめ、文字による解説や写真とビデオを組み合わせたマルチメディア番組、文化人類学・民族学の研究資料として製作された映像民族誌などの番組を、目的に応じて選ぶことができます。

ビデオテーク

短時間コンテンツを個人やグループで気軽にご覧いただけます。課外授業の自主学習などにご利用いただける筆記台を設置しております。

- 1-2人用 20ブース(車椅子優先4ブース)
- 1-6人用 3ブース

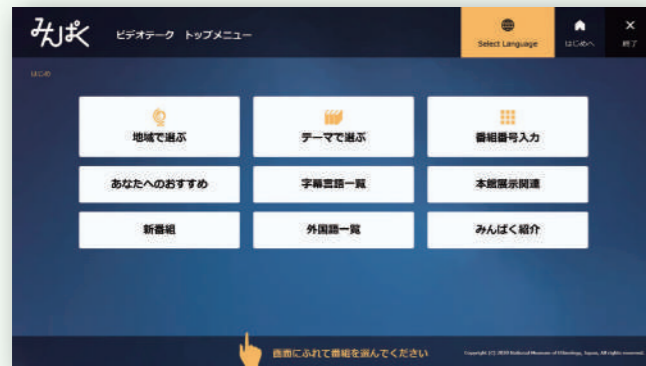


- 団体予約・貸切はできません。混雑時には、ご利用をお待ちいただく場合があります。
- ご利用後はすみやかに他の利用者におゆずりください。

操作画面

※ビデオテーク・みんぱくシアター共通

●トップメニュー



- 番組は、地域別・テーマ別・本館展示関連などさまざまなメニューから選ぶことができます。
- 字幕付き番組や、英語・韓国語・ヒンディー語などの外国語番組もあります。
- メニューは日本語・英語・中国語・韓国語をはじめ9言語に対応しています。
- 「みんぱく電子ガイド」と連携し、本館展示場で視聴した解説映像から、関連するビデオテーク番組を紹介します。



操作画面はタッチパネルです。
メニューを軽くタッチして操作してください。

みんぱくシアター

コンテンツに没入できるよう大型モニターを設置した少人数用の快適なブースと、大型スクリーンによるインパクトのある映像を大人数でご覧いただけるブースがあります。

- 1-2人用 3ブース
- 1-5人用 1ブース
- 1-40人用 1ブース

※大型スクリーンでの上映内容・スケジュールはホームページでご確認ください。

*2022年3月31日オープン

●再生画面



みんぱく電子ガイド (無料)

みんぱく電子ガイドは、展示資料がどのような場所で、どのような人びとによって、どのように使われているか、映像と音声で解説する携帯型の展示解説装置です。

対応言語

日本語・英語・アラビア語・中国語(簡体字・繁体字)・フランス語・ロシア語・スペイン語・韓国語

予約について

- 団体貸出の上限は、**40台**です。必ずご予約をお願いします。
 - ①台数、②貸出・返却予定時刻をお伝えください。
- 土・日・祝日の団体貸出は原則おこなっておりません。
- 雨天延期日のご予約は、延期が決まった際に改めてお願いします。詳細は案内所へお問い合わせください。

お願い

- 当日までに、団体のメンバーへの操作方法等の説明をお済ませください。
- キャンセルや、予約内容の変更については、前日までにご連絡ください。当日の変更はできない場合があります。ご注意ください。

操作方法

- ガイドに付属するストラップを首にかけます。
- ネックスピーカーを首にかけて装着します。
- 展示資料の正面に立ち、ARカメラをかざすと▶マークが画面に表示されます。マークをタップすると解説映像を視聴することができます(一部資料のみ)。

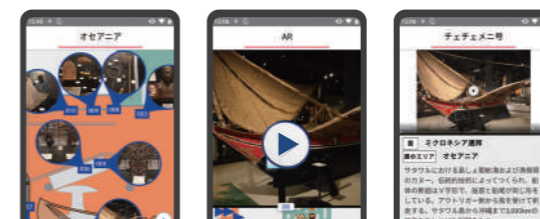


みんぱく電子ガイド



展示場をみる

フロアマップから展示資料の解説を読んだり、ARカメラを使って気になった展示資料の解説映像を視聴することができます(一部資料のみ)。



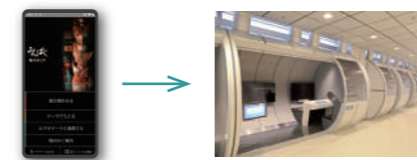
テーマでたどる

衣・食・住などのテーマから、おすすめの鑑賞ツアーコースをご案内します。チェックポイントで解説映像を視聴するとスタンプがたまります。



ビデオテークと連携する

本館展示場で視聴した解説映像と関連するビデオテーク番組をご紹介します。(ビデオテークブースでご使用ください)



館内のご案内

インフォメーションや休憩所、トイレなどの館内施設や、所在地が確認できます。目的地まで、地図と音声でご案内します。(2階展示場のみ)



そのほか鑑賞履歴QRコードを取得できるマイページなどさまざまな機能があります。

みんなくワークシート

みんなくワークシートとして、本館展示をテーマに沿って見学できるもの、特別展や企画展にまつわるもの、自主学習ができるもの等をご用意しています。希望のものを見つけ、ダウンロードしてご利用ください。

ワークシート紹介ページへのアクセス方法

● 国立民族学博物館ホームページ

いちばん上のバナー **学校教育** から
「みんなくワークシート」へアクセス!



ページQRコード

みんなくワークシート トップページ



① 利用したいワークシートが見つかった!

現在、アクティビティ・カード以外のワークシートは、館内では配布しておりません。ご希望の方は、各ワークシートのページよりダウンロードしてご利用ください。学校等の団体でご利用の際は、ダウンロードしたものを必要枚数コピーしてご利用ください。アクティビティ・カードご利用希望の場合は、事前にお問い合わせください。

② 展示内容は変化しています!

当館の展示場は不断の展示更新をおこなっているため、掲載内容が現在の展示場・展示資料とは異なる場合があります。ご了承ください。

③ メモはえんぴつで!

展示場内はボールペン・シャープペンシル・サインペンの使用は禁止です。鉛筆をお持ちください。

お問い合わせ・お申し込み先

国立民族学博物館 企画課
「ワークシート」担当
TEL: 06-6878-8532
(土・日・祝日を除く 10時~17時)
FAX: 06-6878-8242

催し・サービス

遠足・校外学習 事前見学&ガイダンス

年2回(春・夏)学校の先生方を対象としたガイダンスを実施しています。ガイダンスでは、みんなくワークシート(p.11参照)、体験型見学プログラム「わくわく体験 in みんなく」(p.13参照)や、貸出用学習キット「みんなく」(p.14参照)など、博物館見学の準備や学習に役立つツールを担当者がご紹介します。また、実際に館内をまわり、施設や設備のご案内をいたします。見学に関するさまざまなご相談もお受けいたしますので、ぜひこの機会をご利用ください。
※ 参加無料・要事前申込。詳細はホームページをご確認ください。



【動画で見る】遠足・校外学習事前見学&ガイダンス ご案内ページ

遠足や校外学習などで、国立民族学博物館をご利用いただく際に役立つ情報や活用できるコンテンツを紹介する動画です。全7種類の動画がありますので、目的に合わせて動画をご覧ください。



ページQRコード



ミュージアム・ショップ(本館1階)

博物館のコレクションをモチーフにしたオリジナルグッズや文化人類学・民族学に関連した出版物、CD、世界各地から取り寄せた民芸品等、多彩な商品が満載です。見学のお土産にいかがでしょうか。

営業時間: 休館日を除く 10時~17時
TEL: 06-6876-3112
FAX: 06-6878-8421



森の洋食 グリルみんなく(本館1階)

ハンバーグやオムレツなどのお食事メニューや手軽な軽食・デザートを提供しています。座席数は110席あり、少人数から団体まで予約いただけます。また、団体のお客様については弁当の予約も可能です。

営業時間: 休館日を除く 11時~16時30分
(ラストオーダー 16時)
TEL: 06-6310-0810



図書室(本館3階)

文化人類学・民族学関係の文献図書資料を所蔵しています。どなたでもご利用いただけます。

開室時間: 日・祝・休館日を除く 10時~17時
TEL: 06-6878-8271
FAX: 06-6878-8249

当館では、世界の諸民族についての理解と認識を深めてもらうために、定期的に催しをおこなっています。

毎月
第3土曜日



みんなくゼミナール

毎月第3土曜日に、当館の研究者等が文化人類学・民族学の最新の研究成果を分かりやすく講演します。(参加無料/展示観覧券不要)

日曜日



みんなくウィークエンド・サロン —研究者と話そう

日曜日に、当館の研究者が「みんなくの展示資料」「調査している地域(国)の最新情報」「現在取り組んでいる研究」についてお話しします。(参加無料/要展示観覧券)

※ 開催日等の詳細はホームページをご確認ください。

みんぱくで活動する団体による見学サポート

当館で活動する団体「みんぱくミュージアムパートナーズ(MMP)」は、自主的なイベントの企画や運営によりさまざまな博物館活動をサポートしています。MMPでは、団体見学のお手伝いとして下記のプログラムをご用意しています。

小学校向け体験型 見学プログラム 「わくわく体験 in みんぱく」

当館を見学される小学校・支援学校を対象とした体験型見学プログラムです。約20名を1グループとして「展示場見学」「絵本とおはなし」「衣装体験」「楽器体験」等いくつかのセクションを順に回り、見学・体験いただけます。現在、「朝鮮半島の文化」「モンゴル」「中南米」「東南アジア」の4つのプログラムをご用意しています。※**要事前申込(原則希望日の2か月前まで。3か月前にお申し込みが必要な場合もあります)**。詳細はお問い合わせください。



視覚障害者むけ本館展示場案内サポート

当館を見学される視覚に障害のある方を対象に、本館展示場をご案内いたします。触れて確かめること(触察)のできる展示資料の案内や楽器・衣装体験プログラムなどにより、異文化理解を深める体験をサポートしています。
※**要事前申込(3~5週間前まで)**。
詳細はお問い合わせください。



お問い合わせ・お申し込み先
国立民族学博物館 企画課 「MMP」担当
TEL: 06-6878-8532 (土・日・祝日を除く 9時30分~16時30分)
FAX: 06-6878-8242

貸出用学習キット「みんぱく」



みんぱく(=MIN PACK)は、こどもたちが新しい世界と出会い、ふれあうためのカバンです。世界各国、地域の民族衣装や生活の道具など、それらにまつわる情報や解説がパックされています。

こどもたちは、まず実際にふれたり着たり使ったりできる実物に出会います。**(Meet)**そこで生まれた素朴な疑問は、その地域等についての興味を膨らませていくことにつながります。**(Image)**そして次に**(Next)**自分の疑問の答えを自分で調べたり、自分なりのテーマを掲げてより理解を深めたり探究を続けたりと、それぞれの学びのかたちへと発展されることを期待しています。



パックされているモノは、その地域についての知識を増やすための単なる道具にとどまりません。異文化との出会いにおいてどのようにモノを見つめ、それらと語ることができるのか、その先にある物語をどう読みとるのか...を学びきっかけになれば、と考えています。

みんぱくの利用について

- 利用対象：(1) 初等中等教育機関、高等教育機関 (2) 博物館、青少年教育施設、社会教育関係団体 (3) 専修学校、各種学校 (4) その他国立民族学博物館 館長が認めた団体
- 利用期間：往復の運送期間を入れて2週間以内
- 利用費用：往復の送料のみでご利用いただけます。 ※オプションにも送料がかかります。

- 仮予約は貸出日の**2週間前**までにおこなってください。みんぱくホームページ上で予約状況をご確認いただけますが、最新状況ではない場合があります。ご注意ください。
 - 仮予約後、ご利用開始日の**2週間前**までに「借用申請書(ホームページよりダウンロードできます)」に必要事項をご記入の上、ご送付ください。
 - 原則1団体1パックのご利用にらせていただきます。学校機関において複数のクラスが個別に利用される場合は、複数パックの貸出もおこなっておりますので、担当者にご相談ください。
 - パックの一部の資料だけの貸出はおこなっておりません。
 - 予期せぬ事情により、みんぱくの貸出を停止する場合があります。あらかじめご了承ください。
 - 北海道、沖縄、その他離島など、運送に日数がかかる地域に関しては、1か月を越えない範囲で貸出日数を延長させていただきますので、担当者にご相談ください。
- ※その他詳細はみんぱくホームページをご参照ください。

お問い合わせ・お申し込み先
〒565-8511 大阪府吹田市千里万博公園10-1
国立民族学博物館 企画課 「みんぱく」担当
TEL: 06-6878-8532
(土・日・祝日を除く 9時30分~16時30分)
E-mail: minpack@minpaku.ac.jp



ページQRコード

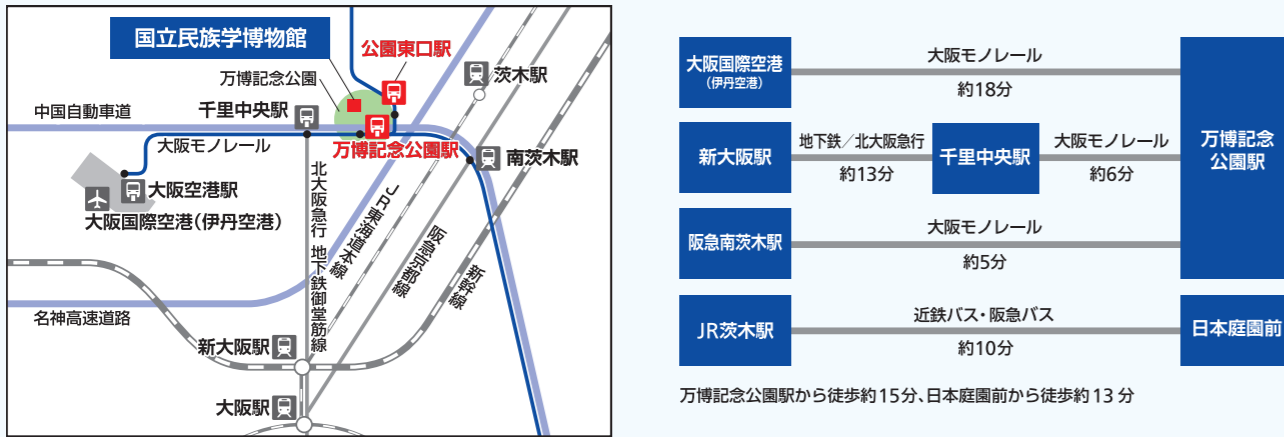
交通案内 (p.17, 18 参照)

ご来館には、万博記念公園内、自然文化園(有料区域)の通行が必要です。

- * 万博記念公園各ゲートで、当館の展示観覧券をお買い求めください。同園内を無料で通行できます。
- * 高校生以下の方は万博記念公園各ゲートの有人窓口(中央口・東口・日本庭園前口・西口)で、「みんなくへの通行」である旨をお申し出いただき、通行証をお受け取りください。
- * 観覧料の支払いが必要な団体は、万博記念公園各ゲートの有人窓口で、当館の団体展示観覧券をお買い求めください。同園内を無料で通行できます。
- * 高校生以下の予約団体には「学校団体等自然文化園通行承諾書」を発行いたしますので万博記念公園各ゲートで提示のうえ通行してください。

公共交通機関を利用して

- 大阪モノレール…「万博記念公園駅」徒歩約15分、「公園東口駅」徒歩約15分
- バス…………… 阪急茨木市駅・JR茨木駅から「日本庭園前」下車徒歩約13分



団体バスを利用して

当館には、駐車場がありません。万博記念公園の各駐車場をご利用ください。

* 大型バスが利用可能な駐車場は、日本庭園前駐車場・東駐車場・中央駐車場です。

中央駐車場と日本庭園前駐車場は大型バス(マイクロバス含む)の事前駐車場予約が可能です。

詳細は https://www.expo70-park.jp/guide/dantai_bus_jizenyoyaku/ をご参照ください。

- 日本庭園前駐車場より徒歩約5分、東駐車場・中央駐車場より徒歩約15分です。

日本庭園前駐車場、東駐車場、中央駐車場

		～2時間	2時間超～3時間	3時間超～4時間	4時間超
大型車	平日	880円	1,330円	1,780円	2,300円
	土日祝	1,400円	2,090円	2,780円	3,500円
マイクロバス	平日	630円	950円	1,270円	1,600円
	土日祝	950円	1,420円	1,890円	2,400円
普通車	平日	410円	620円	830円	1,100円
	土日祝	620円	930円	1,240円	1,600円

(2022年3月現在)

* 障がい者の団体については、適用条件に該当した場合、駐車料金が無料となります。

詳細は、万博記念公園コールセンター(電話:0120-1970-89/06-6877-7387)にお問い合わせください。

近隣の施設 (2022年3月現在)

※詳細は各施設に直接お問い合わせください。

自然文化園・日本庭園

※下記価格は共通入園料金

	《学校団体》 20人以上	《一般団体》 20～199人	200人以上	《個人》 1人	《回数券》(11枚綴り)
高校生	80円	大人 210円	190円	大人 260円	大人 2,600円
小・中学生	50円	小・中学生 70円	60円	小・中学生 80円	小・中学生 720円

* 回数券は1年間有効。

* 国立民族学博物館・大阪日本民芸館の観覧券を万博記念公園各ゲートで購入された方及び招待券等をお持ちの方は、自然文化園(有料区域)を無料で通行できます(ただし、自然文化園・日本庭園を利用される場合は有料となります。また団体はまとめて通行してください)。

* 招待券をお持ちの方は有人窓口までお越しください。

* 障がい者手帳等をお持ちの方は、有人窓口で提示していただくと本人及び付添人(1名まで)の入園が無料となります。

● TEL: 万博記念公園コールセンター(0120-1970-89/06-6877-7387)

● 開園時間: 9時30分～17時(入園は16時30分まで)

● 休園日: 水曜日(祝日の場合は翌日)、年末年始(12月28日～1月1日)

※ただし4月1日～ゴールデンウィーク、10月1日～11月30日は無休。

大阪日本民芸館

大人	710円	高・大学生	450円	小・中学生	100円
----	------	-------	------	-------	------

* 20名以上は団体割引
* 特別展の料金(春・秋)

● TEL: 06-6877-1971

● 開館時間: 10時～17時(入館は16時30分まで)

● 休館日: 水曜日・夏期(7月中旬～9月初旬)・冬期(12月中旬～3月初旬)

EXPO'70パビリオン

* 有料入館者20名以上は団体割引

* 企画展は、別途料金が必要となる場合があります。
* 別途、自然文化園・日本庭園共通の入園料が必要です。

高校生以上	210円	中学生以下	無料
-------	------	-------	----

● TEL: 万博記念公園コールセンター(0120-1970-89/06-6877-7387)

● 開館時間: 10時～17時(入館は16時30分まで)

● 休館日: 水曜日(祝日の場合は翌日)、年末年始(12月28日～1月1日)

※ただし4月1日～ゴールデンウィーク、10月1日～11月30日は無休。

生きているミュージアム「NIFREL」

高校生以上	2,000円	小・中学生	1,000円	幼児	600円
-------	--------	-------	--------	----	------

* 20名以上は団体割引

● TEL: 0570-022060(ナビダイヤル)

● 開館時間: 10時～18時(最終入館は17時まで) ※ただし季節により変更になる場合があります。

※最新情報は、ホームページでご確認ください。

● 休館日: 年中無休 ※年に1回、設備点検のための臨時休業があります。



大阪日本民芸館



生きているミュージアム「NIFREL」

日本万国博覧会記念公園施設配置図

